

学習課題(小学校6年生)

【算数】※は、学習するときのアドバイスです。

〈学習内容〉 ◆データの見方（教科書 82～89 ページ）

83 ページの読書記録調べから、本をよく読んだといえるのは、どちらの組でしょう

どちらの組がよく読んだと思うか、予想と理由を書こう。

予想	理由
組	



何をどのように比べたらいいのかな。

2つの組の人数が違うから、**平均**を求めて比べてみよう。

※ノートやプリントの裏で計算して求めましょう。
電卓を使ってもいいですよ。

1組	冊	2組	冊
----	---	----	---

平均値は2組が多いけど…。

「**平均値**」と言います。

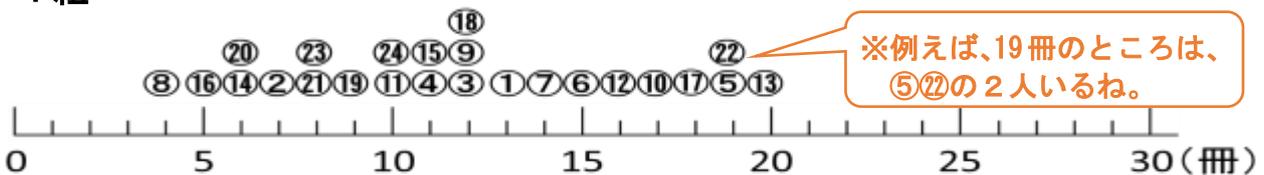
2組はあまり読んでいない人も
多い気がするのにな。



平均を求める以外の方法で比べられるかな。

読んだ本の冊数と人数の関係に着目して、**ドットプロット**で比べよう。

1組



※例えば、19冊のところは、**⑤②**の2人いるね。

※①②…の数字は、各データの番号です。1組のものを参考に、2組を完成させてみよう。

2組



2つを比べて、どんなことが言えますか？

それぞれの組で、データがいちばん多く集まっているところは、何冊でしょう。

1 組

冊

2 組

冊

「**最ひん値**（さいひんち）」と言います。

それぞれの組のデータを大きさの順に並べたとき、ちょうど真ん中になるのは何冊でしょう。

1 組

冊

2 組

冊

「**中央値**（ちゅうおうち）」と言います。

※データの個数は 24 個（偶数）です。24 位までであると考えたとき、「中央値」の場所は、上位から 12 位と 13 位の間に当たります。それら 2 つの冊数をたして 2 で割った値が中央値です。

※データの個数は 23 個（奇数）です。23 位までであると考えたとき、「中央値」は、上位からも下位からも 12 位の冊数の値です。

1 組、2 組の平均値、最ひん値、中央値から、気が付いたことを書きましょう。

データをいくつかの区間に区切って、**度数分布表**に整理しましょう。

読書記録調べ(1組)

冊数(冊)	人数(人)
0以上～5未満	1
5～10	7
10～15	9
15～20	6
20～25	1
25～30	0
合計	24

度数
階級

読書記録調べ(2組)

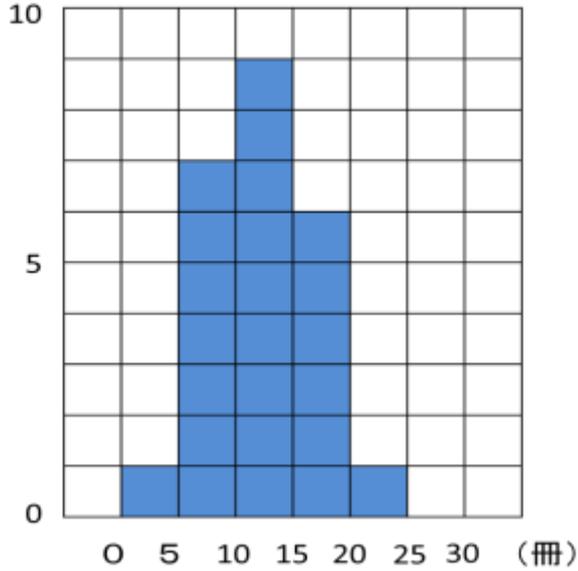
冊数(冊)	人数(人)
0以上～5未満	
5～10	
10～15	
15～20	
20～25	
25～30	
合計	

それぞれの度数分布表で、平均値、最ひん値、中央値が含まれている階級に印をつけましょう。

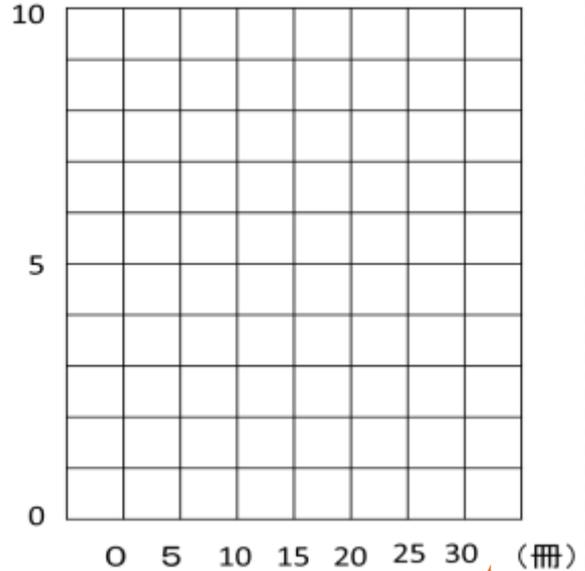
※1組の度数分布表を参考に完成させよう。

度数分布表をもとに、**柱状グラフ**に表しましょう。

(人) 読書記録調べ(1組)



(人) 読書記録調べ(2組)



それぞれの柱状グラフで、平均値、最ひん値、中央値が含まれている階級に印をつけましょう。

※ 1組の柱状グラフを参考に完成させよう。

1組、2組のどちらが本をよく読んだと考えますか？
自分の考えと理由を書きましょう。

※ 様々なデータの見方を学びましたが、その中から選んだり組み合わせたりして理由を書けると素晴らしいですね。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆ データの見方（教科書 P82～89）

- ・ 既に学習している「平均値」以外でも、他の「値」や可視化された表・グラフから総合的に考察し、結論を導くことを目指す学習です。最後の判断場面で、「理由を補強できる見方は他にないかな？」「どの見方を組み合わせたのかな？」と促すことで、データを見る力をさらに高めることにつながります。